地域史講座

江戸時代の大平街道を行き交うモノと人

―襖裏貼り文書の世界―

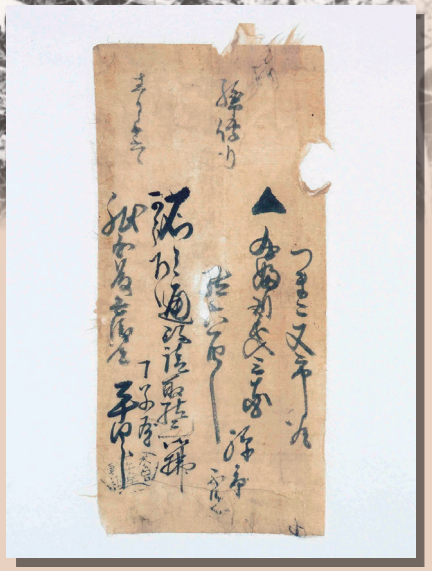
2026年12月12日(土) 14:00～15:45

会　場　羽場公民館 大会議室

報告者　羽田真也（歴史研究所研究員）

受講料　無料

伊那谷の飯田と木曽谷の妻籠を結ぶ大平街道は、18世紀半ばに大平の開発と同時に改修が行われ、その後、人やモノの往来が盛んになったといわれています。しかし、その具体的な様子は十分に明らかにされていません。今回の講座では、大平で旅籠や問屋を営んだ家に襖の裏貼りとして残った荷物の送り状を読み解きながら、19世紀の大平街道における物流のありようを探ります。



大平街道を運ばれた鰤（ぶり）の送り状　大平紙屋文書

■申込方法：QRコード、Webサイト申込フォーム、または歴史研究所まで、電話・FAX・メールでお申し込みください。
■申込内容：氏名（ふりがな）、電話番号をお知らせください。
■申込期間：11月4日（水）～12月10日（木）
※オンライン受講はありません。

どなたでもご参加いただけます。
お気軽にお申し込みください。

参加申込はこちら▶

飯田市歴史研究所
The Iida City Institute of Historical Research
〒395-0803　長野県飯田市鼎下山538
TEL0265-53-4670　FAX0265-21-1173
E-mail：iihr@city.iida.nagano.jp

ムトスの学び